

勝山高校生の声(Voice)をお届け！！

令和 3年 10月 8日発行

岡山県立勝山高等学校

TEL (0867) 44-2628

URL <http://www.katuyama.okayama-c.ed.jp/>

高 勝高 Voice

第 6 号

創立 110 周年記念 鼓山祭

令和3年 9月 9日 (文化の部)
10日 (体育の部)

体育館入場制限、接触禁止、発声を伴う応援・演舞の禁止、コロナ禍の学校祭準備は思うように進まないかと思えた。でも…ルールを守り チームで知恵を出し合って工夫し、鼓山祭を開催できることに感謝した。一緒に頑張れる仲間がいることに感謝した。いつもと一味違う鼓山祭は、今年も勝高生にとって「最高の青春の思い出」となった。勝高Voice6号は、鼓山祭の立役者である、各団団長から中学生の皆さんへ、熱いメッセージをお届けします！



総合優勝 赤団

勝高に1日限りの
カジノがOPEN♪

～みんなが私を成長させてくれました！～

12・23・32・34 HR

団長を務めて、「リーダーシップの在り方」について深く考えることができました。団長になった時、自分の中で“こんな団にしたい！”という思いはありましたが、自分の思いを押し付けるのは良くないと考え、みんなの意見を聞くことに徹して、「みんなはどうしたい？」などと、問いかけばかりしていました。そうしていると、団の中で方向性がぶれてしまい、何度も変更することが増えていきました。やがて、みんなから不安の声が上がり、このままではだめだと思いました。そんな困っている私に先輩や同級生がヒントをくれ、どうすれば団長として団をまとめることができるのか考えました。そして私は、「目標を示す」ことがリーダーにとって大切なのではと考え、みんなに提示しました。そこからは、目標を達成するためには何をすればいいのか、どう分担していけばいいのかを、みんなで考え話し合うことができました。鼓山祭終了後には、応援のみんなが“大成功だった！”と言ってくれ、本当にうれしかったです。

私は部活動でキャプテンをしています。今回学んだ、目標を示すという「リーダーシップの在り方」を、今後も実践していきたいと思います。鼓山祭を通して私は大きく成長することができました。人生で一度しかない高校生活、仲間とともに成長し、青春と一緒に味わいませんか。ぜひ勝高でお待ちしています。

団長 木村 優里 (落合中出身)





～勝高全員で作上げた鼓山祭～

13・21・24・31 HR

コロナの影響で思ったように準備が進められない中、「責任」と「協力」の大切さに改めて気づきました。今年は、大きな声を出しての応援などが禁止され、どのように進めたらいいのか、不透明な状況でした。しかし、まずは団長である自分がしっかりしなければと、責任を持ち行動する姿勢が身に付きました。準備を進めていく中で、いつもそばで私の話を聞いてくれたり、意見を言ってくれたりする2年生や、協力的に動いてくれる1年生、いろいろな視点からアドバイスをくださる3年生の先輩方や先生方、たくさんの仲間存在に気づきました。自分のすることに責任を持つこと、そして自分一人ではできないことには限界があり、仲間と協力することが大切だと改めて感じることができました。

今回の鼓山祭では、コロナ禍という壁に向き合いながら、学校全体が一つになって取り組むことができました。しかし、様々な制限があり、従来のような内容は行うことができませんでした。そんな中で、どんなことができるか、どうすればより面白いものができるかを工夫することで、文化の部、体育の部全体で、逆に今までにない新しい形のもものが出来上がりました。どんな局面でも、想像力をはたらかせ、学校全体で協力できる勝山高校に改めて魅力を感じました。



黄団 団長 藤原 小春（勝山中出身）

青団 団長 瀬島 莉乃（落合中出身）

11・14・22・33HR

～みんなからもらった宝物～

団長を務めることは、練習の指揮を執る仕事もあれば、様々な裏方の仕事もあり、時間に追われて、毎日がドタバタでした。正直、めっちゃきつかったです！（笑）そんな中、「計画を立てる」ことは特に意識して取り組みました。コロナ禍で、練習時間が短くなると予想し、応援に使用する衣装や道具の準備を計画的に終わらせ、練習が本格化する頃には、多くの時間を演舞の練習に充てることができました。また、計画を立てて準備を進めていたおかげで、感染症対策のため演舞の内容を変更せざるを得なくなった時にも、変更箇所時間に割くことができ、できる限りの最高の発表をすることができました。

はじめにきつかったと言いましたが、その分、何物にも代えがたいものを得ることができました。それは、鼓山祭が終わった時に「青団で本当によかった！」という仲間の言葉や、演舞が終わった後に泣いて喜んでいるみんなを見られたことです。その時、本当にやってよかったと思えました。勝高は、温かい人ばかりです。団長を務め、そのことを強く感じました。勝高の鼓山祭で団長をすることができ、本当に感謝しています。

